

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成25年10月3日(2013.10.3)

【公表番号】特表2013-501591(P2013-501591A)

【公表日】平成25年1月17日(2013.1.17)

【年通号数】公開・登録公報2013-003

【出願番号】特願2012-524855(P2012-524855)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/00 (2006.01)

A 6 1 F 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/00 3 1 0

A 6 1 F 13/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月9日(2013.8.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

患者を治療するためのシステムであって：

弾性層を備える包帯であって、該弾性層は、皮膚接着剤、第1の取り付け領域、および第2の取り付け領域を有する、包帯；ならびに

引張要素であって：

該包帯の該第1の取り付け領域に除去可能に連結された第1の構造体であって、該第1の構造体は、複数の比較的硬質のセグメント、および少なくとも1つの比較的曲げ可能な部分を備え、該比較的曲げ可能な部分は、該複数の比較的硬質のセグメントのうちの少なくとも2つの間で曲がることを可能にする、第1の構造体；および

該包帯の該第2の取り付け領域に除去可能に連結された第2の構造体；

を備え、該引張要素は、該包帯が比較的弱い歪みを与えられた第1の構成、および該包帯が比較的強い歪みを与えられた第2の構成を有する、引張要素を備える、システム。

【請求項2】

前記包帯の前記第1の取り付け領域は、前記引張要素の前記第1の構造体に取り付けられた材料の別個のシートを備える、請求項1に記載のシステム。

【請求項3】

前記包帯の前記第2の取り付け領域は、前記引張要素の前記第2の構造体に取り付けられた材料の別個のシートを備える、請求項1または2に記載のシステム。

【請求項4】

前記第1の構造体および前記第2の構造体は、長さを有し、そして前記少なくとも1つの比較的曲げ可能な部分は、該第1の構造体および該第2の構造体の長さに沿った屈曲を可能にする材料を含む、請求項1～3のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項5】

前記少なくとも1つの比較的曲げ可能な部分はヒンジを備える、請求項1～3のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項6】

前記少なくとも 1 つの比較的曲げ可能な部分は、ワイヤまたは支柱を備える、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 7】

前記第 1 の構造体および前記第 2 の構造体のうちの少なくとも一方は、前記引張要素のある範囲の曲がりを可能にするように構成された、複数の比較的硬質のセグメントを備え、そして該複数のセグメントは、該引張要素の曲がりの範囲を制限するように構成されている、請求項 1 ~ 6 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 8】

前記引張要素は、被術者の身体プロファイルの一部に概ねマッチするような形状にされるように構成されている、請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 9】

前記引張要素は、前記包帯を成形するように構成されている、請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 10】

関節リングをさらに備え、該関節リングは、前記引張要素の前記第 1 の構造体と前記第 2 の構造体とに連結され、そして該引張要素が前記第 1 の構成と前記第 2 の構成との間を移動することを可能にすることにより、前記包帯の前記弹性層に歪みを与えるように構成されている、請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 11】

患者を治療するためのシステムであって：

弹性層を備える包帯であって、該弹性層は、皮膚接着剤、第 1 の取り付け領域および第 2 の取り付け領域を有する、包帯；ならびに

引張部材であって、該包帯に力を及ぼして該包帯の該弹性層に歪みを付与するように構成されており、そして該弹性層から分離するように構成されており、該引張部材は、該包帯の該第 1 の取り付け領域に連結されるように構成された第 1 の構造体、および該包帯の第 2 の取り付け領域に連結されるように構成された第 2 の構造体を備え、該引張部材は、該引張部材の該第 1 の構造体と該第 2 の構造体との間に関節リングをさらに備え、該関節リングは、該引張部材が第 1 の構成と第 2 の構成との間で動くことを可能にすることにより、該包帯の該弹性層に歪みを与えるように構成されている、引張部材を備える、システム。

【請求項 12】

前記関節リングは旋回要素を備える、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記第 1 の構造体および前記第 2 の構造体のうちの少なくとも一方が、該第 1 の構造体と該第 2 の構造体との間で曲がることを可能にるように構成された複数の個別的なセグメントを備える、請求項 1 1 または 1 2 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記セグメントが曲げ可能な構造体または変形可能な構造体によって取り付けられている、請求項 1 3 に記載のシステム。

【請求項 15】

前記包帯が、前記弹性層の皮膚接着領域に隣接するフラップ領域を備える、請求項 1 1 ~ 1 4 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 16】

前記引張部材が、前記引張部材を前記包帯から解除するように構成された解除機構を備える、請求項 1 1 ~ 1 5 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【請求項 17】

前記引張部材は、前記包帯に力を及ぼして歪みを付与するときに、1 より大きい力学的な利点を提供するように構成されている、請求項 1 1 に記載のシステム。

【請求項 18】

前記引張部材の前記第 1 の構造体および前記第 2 の構造体のうちの少なくとも一方は、

取り付けられた包帯の代替的な形状又はプロファイルを提供するために、湾曲可能、曲げ可能、変形可能、成形可能、又は移動可能である、請求項 11～17 のいずれか 1 項に記載のシステム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、例えば、以下を提供する：

(項目 1)

皮膚表面を治療する装置において、

第 1 の複数の外向き突起を備えている第 1 の装置取り付け部材と、

第 2 の複数の外向き突起を備えている第 2 の装置取り付け部材と、

前記第 1 及び第 2 の装置取り付け部材の間に分離力を及ぼすように構成された弾力性部材と、を備えている装置。

(項目 2)

前記弾力性部材を引き込まれた構成に維持するように構成された解除可能な係止機構を更に備えている、項目 1 に記載の装置。

(項目 3)

前記引き込まれた構成は、歪みが与えられた構成である、項目 2 に記載の装置。

(項目 4)

前記解除可能な係止機構は、解除可能なラッチを備えている、項目 2 に記載の装置。

(項目 5)

前記解除可能な係止機構は、所定の歪みで係止するように構成されている、項目 3 に記載の装置。

(項目 6)

前記解除可能な係止機構は、前記所定の歪みで係止される時、更に歪みが与えられても耐えるように構成されている、項目 5 に記載の装置。

(項目 7)

前記解除可能な係止機構は、複数の所定の歪みで係止されるように構成されている、項目 3 に記載の装置。

(項目 8)

前記第 1 の装置取り付け部材と、前記第 2 の装置取り付け部材と、前記弾力性部材は、一体化して形成されている、項目 1 に記載の装置。

(項目 9)

創傷包帯材装置は、取り付けられた包帯材を歪みが与えられた構成に維持するように構成され、第 1 の取り付け領域と、第 2 の取り付け領域と、前記包帯材が歪みが与えられた構成にある時、取り付けられた包帯材へのアクセスを提供するように構成された前記第 1 及び第 2 の取り付け領域の間のアクセス領域と、を備えている、アプリケータを備えている、創傷包帯材装置。

(項目 10)

創傷包帯材において、

上面、下面、第 1 の縁及び前記第 1 の縁に対向する第 2 の縁、を備えているシリコンシート構造であって、前記シリコンシートは、

第 1 の接着領域、

非接着領域で前記第 1 の接着領域と隔てられた第 2 の接着領域、を備えているシリコンシート構造と、

前記第 1 の縁と前記第 1 の接着領域との間に位置する第 1 のラップ領域と、

前記第 2 の縁と前記第 2 の接着領域との間に位置する第 2 のラップ領域と、

前記第1のフラップ領域と前記第1の接着領域との間に位置する第1のアプリケータ取り付け部位と、

前記第2のフラップ領域と前記第2の接着領域との間に位置する第2のアプリケータ取り付け部位と、を備えている、創傷包帯材。

(項目11)

前記第1の接着領域と前記第2の接着領域に剥離可能に取り付けられた第1の剥離ライナーを更に備えている、項目10に記載の創傷包帯材。

(項目12)

前記第1のフラップ領域は、接着性フラップ領域である、項目11に記載の創傷包帯材。

(項目13)

前記第1のフラップ領域に剥離可能に取り付けられた第2の剥離ライナーを更に備えている、項目12に記載の創傷包帯材。

(項目14)

前記第2のフラップ領域は、接着性フラップ領域である、項目13に記載の創傷包帯材。

(項目15)

前記第2のフラップ領域に剥離可能に取り付けられた第3の剥離ライナーを更に備えている、項目14に記載の創傷包帯材。

(項目16)

前記第1及び第2の接着領域は、少なくとも約240kg/mの剥離力を備えた感圧シリコン接着剤を備えている、項目10に記載の創傷包帯材。

(項目17)

前記第1及び第2の接着領域は、少なくとも約270kg/mの剥離力を備えた感圧シリコン接着剤を備えている、項目10に記載の創傷包帯材。

(項目18)

前記第1及び第2の接着領域は、少なくとも約300kg/mの剥離力を備えた感圧シリコン接着剤を備えている、項目10に記載の創傷包帯材。

(項目19)

前記第1及び第2の接着領域は、少なくとも約330kg/mの剥離力を備えた感圧シリコン接着剤を備えている、項目10に記載の創傷包帯材。

(項目20)

前記第1のアプリケータ取り付け部位は、複数の取り付け開口部を備えている、項目10に記載の包帯材。

(項目21)

前記第1の剥離ライナーは、下面と、前記下面とは異なる表面テクスチャを備えた上面と、を有している、項目110に記載の包帯材。

(項目22)

包帯材において、

上面、下面、第1の縁、第2の縁、第1のアプリケータ取り付け部位、前記第1の縁と前記第1のアプリケータ取り付け部位との間のフラップ領域、前記第2の縁から間隔を空けて配置された第2のアプリケータ取り付け部位、を備えた弾性層と、

前記弾性層の前記下面上に位置する第1の接着領域と、を備えている包帯剤。

(項目23)

創傷を治療する方法において、

第1の歪みが与えられていない領域と第2の歪みが与えられていない領域との間の弾性包帯の内側領域に歪みを与えることであって、それぞれの歪みが与えられていない領域は、前記包帯の2つの対向する縁から間隔を空けて配置されている、弾性包帯の内側領域に歪みを与えることと、

前記包帯の前記歪みが与えられた内側領域を皮膚部位に取り付けることと、から成る創

傷を治療する方法。

(項目24)

前記弹性包帯の前記内側領域に歪みを与えることは、前記包帯の前記歪みが与えられた内側領域を前記皮膚部位に取り付ける前に行われる、項目23に記載のような創傷を治療する方法。

(項目25)

前記包帯の前記歪みが与えられた内側領域を前記皮膚部位に取り付けることは、前記包帯の2つの対向する縁を前記皮膚部位に取り付けずに行われる、項目23に記載のような創傷を治療する方法。

(項目26)

前記包帯の前記内側領域を前記皮膚部位に取り付けた後、前記包帯の2つの対向する縁を前記皮膚部位に取り付けることを更に備えている、項目25に記載の方法。

(項目27)

前記取り付けられた包帯のピーク歪みを下げながら、前記皮膚部位でピーク歪みを上げることを更に備えている、項目23に記載のような創傷を治療する方法。

(項目28)

前記包帯の前記2つの対向する縁を前記皮膚部位に取り付けることを更に備えている、項目23に記載のような創傷を治療する方法。

(項目29)

前記包帯の前記2つの対向する縁を前記皮膚部位に取り付ける前に、前記包帯の前記歪みが与えられていない領域に歪みを与えることを更に備えている、項目28に記載のような創傷を治療する方法。

(項目30)

前記取り付けられていない弹性包帯の前記内側領域に歪みを与えることは、前記取り付けられていない弹性包帯の前記内側領域を所定の歪みまで伸長させることを備えている、項目23に記載のような創傷を治療する方法。

(項目31)

切開治療システムにおいて、

少なくとも2つのフックアンドループ領域と少なくとも1つの皮膚接着領域を備えた弹性部材を備えている、切開治療システム。

(項目32)

前記弹性部材は、弹性層部材である、項目31に記載の切開治療システム。

(項目33)

前記少なくとも1つの接着領域は、前記少なくとも2つのフックアンドループ領域ではなく前記弹性部材の対向面に位置している、項目31に記載の切開治療システム。

(項目34)

前記少なくとも2つのフックアンドループ領域のそれぞれは、フックアンドループ領域のループ型である、項目33に記載の切開治療システム。

(項目35)

前記弹性部材は、少なくとも2つの皮膚接着領域を備えている、項目31に記載の切開治療システム。

(項目36)

前記弹性部材の前記少なくとも2つのフックアンドループ領域を補完する少なくとも2つのフックアンドループ領域を備えたアプリケータを更に備えている、項目31に記載の切開治療システム。

(項目37)

皮膚表面を治療するシステムにおいて、

第1の装置取り付け部材と、

第2の装置取り付け部材と、

前記第1と第2の装置取り付け部材の分離を維持するために前記装置の上に外部力を持

続的に加えることを必要とせずに前記第1と第2の装置取り付け部材を移動可能に分離するように構成された折り畳み式構造と、を備えた引張部材を備えている、システム。

(項目38)

前記引張部材の前記第1及び第2の装置取り付け部材に付着するように構成された弾性部材を更に備えている、項目37に記載のシステム。

(項目39)

前記弾性部材は、前記引張部材の前記第1及び第2の装置取り付け部材に除去可能に付着するように構成されている、項目38に記載のシステム。

(項目40)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり少なくとも0.35ニュートンの幅当たりの荷重を有している、項目38に記載のシステム。

(項目41)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり約2ニュートン以下の幅当たりの荷重を有している、項目40に記載のシステム。

(項目42)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり約1ニュートン以下の幅当たりの荷重を有している、項目40に記載のシステム。

(項目43)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり約0.7ニュートン以下の幅当たりの荷重を有している、項目40に記載のシステム。

(項目44)

前記弾性材料は、60%の工学歪みで1mm当たり約0.5ニュートン以下の幅当たりの荷重を有している、項目40に記載のシステム。

(項目45)

前記弾性材料は、0%の工学歪みから60%まで減らない幅当たりの荷重を有している、項目40に記載のシステム。

(項目46)

前記弾性材料は、0%の工学歪みから60%まで直線的に増える幅プロット当たりの荷重を有している、項目40に記載のシステム。

(項目47)

前記弾性材料は、0%の工学歪みから60%まで凸状ではない幅プロット当たりの荷重を有している、項目40に記載のシステム。

(項目48)

前記弾性材料は、30%の工学歪みまで歪みを与え、表面に付着させた時に少なくとも8時間の間実質的な一定応力を200kPaから約500kPaまでの前記範囲内に維持するように構成された接着剤を備えている、項目40に記載のシステム。

(項目49)

前記弾性材料は、30%の工学歪みまで歪みを与え、表面に付着させた時に少なくとも8時間の間実質的な一定応力を200kPaから約400kPaまでの前記範囲内に維持するように構成された接着剤を備えている、項目40に記載のシステム。

(項目50)

前記実質的な一定応力は、少なくとも8時間を通して10%未満だけ変化する、項目49に記載のシステム。

(項目51)

前記実質的な一定応力は、少なくとも8時間を通して5%未満だけ変化する、項目49に記載のシステム。

(項目52)

前記折り畳み式構造は、2つの折り畳み式支持部と2つの固定式支持部を備えている、項目37に記載のシステム。

(項目53)

前記 2 つの折り畳み式支持部のそれぞれは、前記 2 つの固定式支持部の両方と関節結合している、項目 5 2 に記載のシステム。

(項目 5 4 )

前記 2 つの折り畳み式支持部は、それぞれ、2 つの旋回可能に接続された副支持部を備えている、項目 5 3 に記載のシステム。

(項目 5 5 )

前記折り畳み式構造は、折り畳み状態と拡張状態を備えていて、前記折り畳み状態では、前記旋回可能に接続された副支持部のそれぞれは、前記 2 つの折り畳み式支持部と直交する線と少なくとも 30 度の角度を成している、項目 5 4 に記載のシステム。

(項目 5 6 )

使用者が及ぼす力を、前記折り畳み式構造を通して送るように構成された型押し構造を更に備えている、項目 3 7 に記載のシステム。

(項目 5 7 )

前記型押し構造は、型押し面と弾力性部材を備えている、項目 5 6 に記載のシステム。

(項目 5 8 )

前記弾力性部材は、ばねである、項目 5 7 に記載のシステム。

(項目 5 9 )

前記 2 つの固定式支持部は、実質的に平行に向いており、前記 2 つの固定式支持部の少なくとも 1 つは、前記平行な向きに垂直な運動軸に沿って並進するように構成されている、項目 5 2 に記載のシステム。

(項目 6 0 )

前記折り畳み式構造は、前記分離力を及ぼす時に力学的な利点を提供するように構成されている、項目 3 7 に記載のシステム。

(項目 6 1 )

前記力学的な利点は、前記折り畳み式構造の移動範囲を通して提供される、項目 6 0 に記載のシステム。

(項目 6 2 )

前記力学的な利点は、前記折り畳み式構造の移動範囲の一部で提供される、項目 6 0 に記載のシステム。

(項目 6 3 )

皮膚治療装置に歪みを引き起こすために分離力を及ぼすように構成された引張装置において、前記引張装置は、

引張部材と、

除去可能に皮膚治療装置に付着するように構成された第 1 の取り付け部分と除去可能に前記皮膚治療装置に付着するように構成された第 2 の取り付け部分と、を備えている、

前記引張部材は、前記第 1 及び第 2 の取り付け部分に取り付けられた皮膚治療装置に歪みを引き起こすために前記第 1 の取り付け部分と前記第 2 の取り付け部分との間に分離力を及ぼすように構成されている、引張装置。

(項目 6 4 )

前記引張部材は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり少なくとも約 0.25 ニュートンの荷重を用いて前記皮膚治療装置に 40 % の工学歪みまで歪みを与えるように構成されている、項目 6 3 に記載の引張装置。

(項目 6 5 )

前記皮膚治療装置に 40 % の前記工学歪みまで歪みを与える前記荷重は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり約 1 ニュートンより大きくない、項目 6 3 に記載の引張装置。

(項目 6 6 )

前記皮膚治療装置に 40 % の前記工学歪みまで歪みを与える前記荷重は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり約 0.5 ニュートンより大きくない、項目 6 5 に記載の引張装置。

(項目 6 7 )

前記引張部材は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり少なくとも約 0.35 ニュートン

の荷重を用いて前記皮膚治療装置に 60 % の工学歪みまで歪みを与えるように構成されている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 68)

前記皮膚治療装置に 60 % の前記工学歪みまで歪みを与える前記荷重は、前記皮膚治療装置の 1 mm 幅当たり約 1 ニュートンより大きくない、項目 66 に記載の引張装置。

(項目 69)

前記引張部材は、前記分離力を及ぼすように構成された弾力性部材を備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 70)

前記弾力性部材を第 1 の構成まで引き込み、その後前記弾力性部材を歪みが与えられた構成まで解除するように構成された圧縮部材を更に備えていて、それによって、歪みが、前記第 1 及び第 2 の取り付け部分に取り付けられた皮膚治療装置に生み出される、項目 698 に記載の引張装置。

(項目 71)

前記弾力性部材を前記第 1 の構成に解除可能に係止するように構成された解除可能係止機構を更に備えている、項目 709 に記載の引張装置。

(項目 72)

前記係止機構は、前記皮膚治療装置の所定の歪みの範囲に対応する弾力性部材構成の範囲に亘って係止するように構成されている、項目 71 に記載の引張装置。

(項目 73)

前記係止機構は、約 0 % から約 60 %までの範囲内の所定の歪みの範囲に亘って係止するように構成されている、項目 72 に記載の引張装置。

(項目 74)

前記係止機構は、約 10 % から約 50 %までの範囲内の所定の歪みの範囲に亘って係止するように構成されている、項目 72 に記載の引張装置。

(項目 75)

前記引張部材は、前記分離力を及ぼすように構成された機械力アプリケータを備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 76)

前記機械力アプリケータは、前記力をかける力学的利点を提供する、項目 75 に記載の引張装置。

(項目 77)

前記機械力アプリケータは、手動で作動させることができる、項目 75 に記載の引張装置。

(項目 78)

前記第 1 及び第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、フックアンドループ機構を備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 79)

前記第 1 及び第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、前記皮膚治療装置の開口部で受け取られるように構成された延長部材を備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 80)

前記第 1 及び第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、皮膚治療装置の取り付け部材を受け取るための開口部を備えている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 81)

前記第 1 の取り付け部分と前記第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、前記皮膚治療装置の分離を円滑にするために前記引張部材に対して動くように構成されている、項目 63 に記載の引張装置。

(項目 82)

前記第 1 の取り付け部分と前記第 2 の取り付け部分の少なくとも 1 つは、前記引張部材に対して旋回又は回転するように構成されている、項目 81 に記載の引張装置。

(項目83)

前記第1の取り付け部分と第2の取り付け部分の少なくとも1つは、前記引張部材に対して引き込むように構成されている、項目81に記載の引張装置。

(項目84)

前記引張装置は、使用者が皮膚治療装置を被術者の皮膚に貼り付けることを可能にするように構成されたアプリケータである、項目63に記載の引張装置。

(項目85)

被術者の皮膚に貼り付けられている皮膚治療装置に圧力を加えるように構成された圧力パッドを更に備えている、項目63に記載の引張装置。

(項目86)

前記圧力パッドは、前記第1及び第2の取り付け部分の間に位置している、項目85に記載の引張装置。

(項目87)

前記引張部材は、曲線構成を有している、項目63に記載の引張装置。

(項目88)

前記引張部材は、曲線平面構成を有している、項目87に記載の引張装置

(項目89)

前記引張部材は、所定の係止構成に対する変形に自動的に追随して係止するように構成され

(項目90)

治療装置を表面に貼り付ける方法において、

治療装置に少なくとも所定の歪み閾値まで歪みを与えるように前記引張装置を作動させることと、

前記引張装置へ加えられる力の外部印加を必要とせずに前記治療装置の歪みを維持することと、

前記歪みが与えられた治療装置を治療部位に貼り付けることと、

前記治療装置を前記引張装置から取り外すことと、から成る方法

(項目91)

前記引張装置を作動させる前に前記治療装置を前記引張装置へ取り付けることを更に備えている、項目90に記載の方法。

(項目92)

前記引張装置を作動させることは、前記引張装置を圧迫することを備えている、項目90に記載の方法。

(項目93)

前記治療装置の前記歪みの少なくとも幾つかを解放することを更に備えている、項目90に記載の方法。

(項目94)

前記治療装置の前記歪みの少なくとも幾つかを解放することは、前記引張装置を折り畳むことを備えている、項目93に記載の方法。

(項目95)

前記引張装置を、前記引張装置を作動させる所定の構成に係止することを更に備えている、項目94に記載の方法。

(項目96)

前記引張装置を係止することは、前記治療装置に前記所定の歪み閾値まで歪みを与えた後、自動的に起こる、項目95に記載の方法。

(項目97)

前記治療装置の中の前記歪みを解放することは、前記引張装置の係止機構を解除することを備えている、項目95に記載の方法。

(項目98)

前記治療装置を前記引張装置に取り付けることは、前記引張装置上に位置する2つの取

り付け機構を使用して、2つの別々の場所で行われる、前記治療装置を前記引張装置に取り付けることを備えている、項目90に記載の方法。

(項目99)

前記治療装置を前記治療部位に押し当てるこを更に備えている、項目98に記載の方法。

(項目100)

前記治療装置を押圧することは、前記治療装置を前記引張装置から取り外す前に行われる、項目99に記載の方法。

(項目101)

前記治療装置を押圧することは、前記引張装置の前記2つの取り付け機構の間に位置する弾力性スタンパ機構を押し下げるこを備えている、項目99に記載の方法。

(項目102)

前記治療装置を押圧することは、手動で前記治療装置の上に押圧するために前記引張装置のアクセス開口部に手を入れることを備えている、項目99に記載の方法。

本明細書に記載される装置、キット及び方法は、概ね平面的な力を包帯から皮膚表面へ伝達するために皮膚接着剤を使用して後に皮膚に貼られる弾性皮膚治療装置に所定の歪みを加える及び／又は維持することによる瘢痕及び／又はケロイドの治療、改善又は防止を含む、創傷治癒用のものであり得る。アプリケータは、歪みを加える及び／又は維持するために使用され、アプリケータの幾つかは、更に、皮膚治療装置の上に荷重を及ぼす時に、少なくとも幾つかの力学的な利点を使用者に提供するように構成されている。